



あんなにいいお祭りはないよ

写真
4

5 どんこサッカー大会フォトコンテスト公開審査会

篠山小学校体育館で「第23回県境篠山騒動どんこサッカー大会フォトコンテスト」公開審査会が行われました。審査員は、写真家で二科会写真部会員の犬飼恵俊さん(宇和島市)が務め、県内外の写真愛好家65名から寄せられた170点の作品を厳正に審査しました。最優秀賞に選ばれたのは浦田一寿さん(宿毛市)の「ヘディング炸裂」で、愛南町からは吉弘宗二郎さん(増田)の「勝者の顔」が佳作に選ばれました。

HOME PLANT

写真
5
写真
6

22 ありがとう菊川

思い出と感謝と希望を大空へ

平成26年3月末に閉校となる菊川小学校で、『ありがとう菊川 138年の歴史の力を見せるんだ』をスローガンに「平成25年度 菊川地区秋季大運動会」が開催されました。

運動会には全校児童13名をはじめ、地元住民や過年度同校に在籍した教職員など大勢が参加し、定番の「玉入れ」や「綱引き」のほか、「心を合わせる時、今でしょ!」や「つなごう138年の歴史」など同校ならではの種目で、子どもからお年寄りまで、楽しく競技しました。

運動会のフィナーレでは、閉校記念行事として「思い出と未来を風船に乗せて」と題して参加者全員で風船飛ばしを行い、惜しまれながら運動会の幕が下ろされました。

本日!海日和!! vol.36 「海のベストカップル」



ナマコの上がデートスポット

我が家には縁遠いが、11月22日はいい夫婦の日だそう。そこで、今回は仲良し夫婦の紹介をしよう。

ウミウシカクレエビという名前がついているが、ナマコの上で見られることが多い。それなら、ナマコカクレエビじゃないかと言いたくなるが、学者さんが決めたことだから仕方がない。なんとなくウルトラマンに似ていることから、ダイバーの間ではウルトラマンエビと呼ばれて人気がある。ナマコにはサポニンという有毒な成分があり、魚などの外敵に襲われることが少なく、この上なく安全な隠れ家になっている。

二匹の大きさが随分と違うが、大きい方がメスである。多くの卵を産まなければならないために、体が大きく進化した。どの世界でも子どもを産むのは大変なようだ。小さなオスが所在なげに寄り添っているのを見て、なんだか我が家の力関係を思い出してしまった。オスはオスで苦労があるのだろうなあ。

(撮影地:鹿島) 愛南サンゴを守る会 西尾知照



写真 1
9/ 28 運動会で
交通ルールを再確認

高齢者の交通意識の向上を図るとともに、健康増進と親睦を深めようと「高齢者交通安全運動会」が御荘 B&G 海洋センター体育館で開催され、約 120 名が参加しました。

7 回目となる今年の運動会では、愛南警察署員も競技に参加し、「刑事パンレース」や「信号待ち」など交通ルールを盛り込んだ種目で、交通安全について考えながら楽しく汗を流しました。

写真 2
10/ 1 カ士とぶつかり稽古

大相撲の豊ノ島関(宿毛市出身、秋場所では西前頭 7 枚目)が、相撲競技の底辺の拡大を図ろうと菊川小学校と篠山小学校を訪問し、児童と交流を深めました。

豊ノ島関が秋場所千秋楽で負傷したため、豊ノ島関と児童らとの対戦は実現しませんでした。子どもたちは、代わりに胸を貸した付け人に 2 人がかり、3 人がかりで果敢に挑みました。

写真 3
10/ 2 手作りおもちゃで交流

手作りおもちゃの作製などを通して高校生と児童・園児が交流する「南高ワークショップ」が城辺小学校体育館で行われ、子どもたちが「輪投げ」や「ドミノ・パズル」など 5 種類の工作を楽しみました。この事業は、「こぶたたんぼぽポケットとんぼ(増田和恵代表)」をはじめとする子育て支援グループが開催し、今年は、高校 1 年生 198 名と城辺小学校の 1 年生 45 名、城辺保育所とあいなん幼稚園の園児 62 名のほか地元ボランティア約 30 名が参加しました。